

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 倉庫精練株式会社
 コード番号 3578 URL <http://www.soko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長高 昭夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 森野 宏司
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 大

TEL 076-291-3811

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,968	—	△188	—	△120	—	△227	—
20年3月期第3四半期	6,653	△10.4	71	△72.3	156	△55.6	86	△66.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△22.54	—
20年3月期第3四半期	8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,787	3,409	49.5	332.74
20年3月期	7,285	3,826	51.8	374.07

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,357百万円 20年3月期 3,775百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	3.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	△13.9	△390	—	△300	—	△540	—	△53.51

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名) 除外 一社(社名)
- 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]
- 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]
- 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 10,120,000株 20年3月期 10,120,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 29,206株 20年3月期 27,139株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 10,092,366株 20年3月期第3四半期 10,096,300株

*業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年10月30日公表の通期業績予想は、本資料において修正しております。詳細につきましては、平成21年2月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2.上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

3.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い、四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融市場の混乱ならびに、株式市場の大幅な変動、急激な円高の影響により、企業収益が大幅に減少し、雇用不安から個人消費が落ち込む等、景気は悪化したまま推移しております。

このような状況のもと、当企業グループは、徹底したコスト削減や生産性向上の取組みを強化し、加工料金への転嫁にも注力してまいりましたが、急激な需要の変化と内外の景気後退の長期化が響き、受注数量も伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は59億68百万円、経常損失は1億20百万円、四半期純損失は2億27百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりです。

(1) 繊維事業

委託加工部門においては、所得環境の厳しさから衣料品の買い控えもあり、アウターなどは低調に推移しました。また、自動車の販売不振により上期に苦戦を強いられました車両資材分野においては、数量を伸ばしたものの、不採算品種の受注の見直しの影響もあり事業環境は非常に厳しい状況となっており、その結果、売上高は39億10百万円となりました。

製品販売部門においては、産業資材関連で、差別化された自社製品の開発、販売を推進し、印刷基布、介護関連の数量は順調に伸ばすことができた反面、衣料関連では、合繊素材の超光沢加工品等は順調に推移しましたが、定番商品において国内需要の低迷から受注が伸び悩み、その結果、売上高は16億1百万円にとどまりました。

以上の結果、繊維事業全体における売上高は、保管料収入を含めて55億71百万円、営業損失は2億2百万円となりました。

(2) その他の事業

建築内装業及び機械製造・修理事業は、繊維事業同様厳しい環境のなか、外販の強化、固定費の削減や外注の内製化に努め、全売上高は3億96百万円、営業利益は29百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は32億94百万円で、前連結会計年度末に比べ2億29百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金が1億49百万円減少したことが主な要因です。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は34億92百万円で、前連結会計年度末に比べ2億68百万円減少しました。これは、投資有価証券の時価評価額の変動により2億26百万円減少したことが主な要因です。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は22億82百万円で、前連結会計年度末に比べ6百万円増加しました。これは、短期借入金が1億40百万円増加しましたが、一方で支払手形及び買掛金が1億24百万円減少したことが主な要因です。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は10億94百万円で、前連結会計年度末に比べ88百万円減少しました。これは、長期借入金が1億50百万円増加しましたが、一方で退職給付引当金が2億41百万円減少したことが主な要因です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は34億9百万円で、前連結会計年度末に比べ4億16百万円減少しました。これは、利益剰余金が2億88百万円、その他有価証券評価差額金が1億29百万円とそれぞれ減少したことが主な要因です。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、非資金取引である減価償却費2億95百万円、売上債権1億49百万円の減少等がありましたが、一方で退職給付引当金2億41百万円、及びその他の負債25百万円の減少等があり、結果として83百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億82百万円の有形固定資産の取得による支出等により、1億64百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入収入3億円等により、2億28百万円の収入となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5億80百万円となり、前連結会計年度末と比べて19百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成20年10月30日に公表いたしました平成21年3月期の業績予想(連結・個別)を修正しております。

詳細につきましては、平成21年2月6日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

税金費用の計算

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、法定実効税率を使用して計算した金額を計上しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。なお、この変更による営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	673,916	693,320
受取手形及び売掛金	1,803,195	1,952,810
商品及び製品	219,008	176,984
原材料及び貯蔵品	291,305	301,139
仕掛品	157,729	233,892
その他	168,891	186,839
貸倒引当金	△19,369	△20,956
流動資産合計	3,294,677	3,524,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,200,205	1,265,232
機械装置及び運搬具（純額）	920,516	1,099,256
その他（純額）	376,124	238,983
有形固定資産合計	2,496,845	2,603,472
無形固定資産	9,021	11,569
投資その他の資産		
投資有価証券	642,296	868,586
その他	344,798	278,099
投資その他の資産合計	987,094	1,146,685
固定資産合計	3,492,961	3,761,728
資産合計	6,787,639	7,285,757

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,404,028	1,528,348
短期借入金	300,000	160,000
未払法人税等	22,288	9,062
賞与引当金	27,866	36,167
その他	528,685	542,485
流動負債合計	2,282,868	2,276,064
固定負債		
長期借入金	155,000	5,000
退職給付引当金	891,983	1,133,444
役員退職慰労引当金	36,863	33,190
負ののれん	11,014	11,702
固定負債合計	1,094,861	1,183,337
負債合計	3,377,729	3,459,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	130,686	130,686
利益剰余金	2,586,664	2,874,696
自己株式	△5,346	△5,129
株主資本合計	3,218,004	3,506,253
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	139,581	269,195
評価・換算差額等合計	139,581	269,195
少数株主持分	52,322	50,905
純資産合計	3,409,909	3,826,354
負債純資産合計	6,787,639	7,285,757

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	5,968,105
売上原価	5,588,490
売上総利益	379,614
販売費及び一般管理費	567,750
営業損失(△)	△188,135
営業外収益	
受取利息	1,378
受取配当金	13,063
受取賃貸料	80,574
その他	18,979
営業外収益合計	113,995
営業外費用	
支払利息	3,850
持分法による投資損失	5,503
賃貸費用	31,543
その他	5,177
営業外費用合計	46,075
経常損失(△)	△120,216
特別利益	
貸倒引当金戻入額	418
特別利益合計	418
特別損失	
固定資産処分損	7,162
投資有価証券評価損	3,078
特別損失合計	10,240
税金等調整前四半期純損失(△)	△130,038
法人税等	95,414
少数株主利益	1,999
四半期純損失(△)	△227,452

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失 (△)	△130,038
減価償却費	295,897
持分法による投資損益 (△は益)	5,503
有形固定資産処分損益 (△は益)	7,162
その他の償却額	50
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△241,461
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,301
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,587
受取利息及び受取配当金	△14,441
支払利息	3,850
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,078
売上債権の増減額 (△は増加)	149,615
たな卸資産の増減額 (△は増加)	43,972
仕入債務の増減額 (△は減少)	△124,320
その他の資産の増減額 (△は増加)	△52,821
その他の負債の増減額 (△は減少)	△25,430
小計	△85,596
利息及び配当金の受取額	14,441
利息の支払額	△4,098
法人税等の支払額	△8,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	△83,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△182,219
有形固定資産の売却による収入	15
従業員に対する貸付金の回収による収入	18,900
その他の支出	△1,750
その他の収入	425
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,000
長期借入れによる収入	300,000
長期借入金の返済による支出	△50,000
自己株式の取得による支出	△216
配当金の支払額	△60,579
少数株主への配当金の支払額	△570
財務活動によるキャッシュ・フロー	228,633
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△19,403
現金及び現金同等物の期首残高	600,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	580,916

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
売上高	6,653,158
売上原価	5,975,437
売上総利益	677,720
販売費及び一般管理費	606,560
営業利益	71,159
営業外収益	110,559
営業外費用	24,883
経常利益	156,836
特別利益	
特別損失	5,787
税金等調整前四半期純利益	151,048
税金費用	61,401
少数株主利益	2,741
四半期純利益	86,905

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	151,048
減価償却費	313,448
引当金の増減額(は減少)	79,418
受取利息及び受取配当金	14,897
支払利息	1,963
売上債権の増減額(は増加)	83,654
たな卸資産の増減額(は増加)	36,132
仕入債務の増減額(は減少)	28,615
その他の資産の増減額(は増加)	71,332
その他の負債の増減額(は減少)	68,576
その他	5,096
小計	313,469
利息及び配当金の受取額	14,897
利息の支払額	1,854
法人税等の支払額	15,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	311,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	255,147
従業員貸付の回収による収入	12,813
その他	11,116
投資活動によるキャッシュ・フロー	253,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	160,000
長期借入金の返済による支出	83,520
配当金の支払額	61,168
自己株式の取得による支出	896
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,414
現金及び現金同等物の増加額	72,297
現金及び現金同等物の期首残高	603,134
現金及び現金同等物の 四半期末残高	675,431